

令和3年6月18日

二宮町教育委員会議録

(定例会・臨時会)

二宮町教育委員会

- 1 開会時間 9時30分
- 2 閉会時間 11時30分
- 3 教育長名 森 英夫
- 4 署名委員 山内 みどり
- 5 教育長及び委員

出欠席	職名	氏名
○	教育長	森 英夫
○	教育委員 教育長職務代理者	渡辺 優子
○	教育委員	野谷 悦
○	教育委員	岡野 敏彦
○	教育委員	山内 みどり

- 6 出席者氏名
- | | |
|--------------|-------|
| 教育部長 | 黒石 徳子 |
| 教育総務課長 | 下條 博史 |
| 生涯学習課長 | 釧持 直人 |
| 教育総務課長代理 | 田中 明夫 |
| 教育総務課指導班長 | 安藤 通晃 |
| 教育総務課教育総務班長 | 大木 健司 |
| 教育総務課教育総務班主査 | 添田 理代 |
- 7 傍聴者 0名
- 8 調製者 教育総務課教育総務班主査 添田 理代

1 開会宣言

(教育長) 令和3年度6月定例教育委員会議を開催します。

2 署名委員の氏名

山内委員を指名する。

3 教育長事務報告

(教育長) 教育長事務報告を資料に基づいて行う。

(教育部長) 6月政策会議報告及び第2回二宮町議会定例会報告を資料に基づいて行う。

(各課長) 各課の事務報告・事業予定について資料に基づいて説明する。

(指導班長) 6月7日開催の中学校英語教育研修会報告を説明する。

○(岡野委員) 先程の英語の話は、すごく良い効果だと感じます。臆することなく英語にすることで、頭で考えてしゃべるのではなく、反射的に言葉が出てくる能力が発揮できると良いと感じます。それと話すスピードを落とさないというのがキーだと感じます。TOEICや実際のビジネスの場でもスピードを落とさず遠慮なく話しかけてくるので、やはりそれに対して付いていく能力は必要だと感じています。是非継続してほしいと感じます。

もう一点、先程の寺子屋で二宮高校の生徒が教えてくれたというのがありました。年齢がそう遠く無い高校生とコミュニケーションが取れるのは、すごく大事なことだと思います。小中一貫の一番のポイントである幅の広い年齢層の特質を生かすことに繋がって行く活動だと感じます。人に教えるためには自分が理解していないと出来ないので、教える側にも定着が広がると思います。インプットとアウトプットの比率は3対7で、3学んだら7を人に話せと書いてある本もあります。上級生が下級生にアウトプットしているんなことを伝えていく、という仕組みを小中一貫の中で実践していけたらなと感じました。

○(教育長) 6月7日に中学校英語教育研修会があり、今日は小学校英語教育研修会があります。これは元々小中の教員は全て参加出来るのですか。

○(指導班長) 中学校英語教育研修会は、中学校の運動会の代休日だったので一部の参加になりましたが、小学校側からの参加もありました。今日の研修会も中学校側から先生が参加してくれています。

○(教育長) 小学校と中学校の括りを作っているということは、小中一貫のワーキンググループの英語のメンバーが回している意識ではないということですか。

○(指導班長) 声掛けの仕方は昨年度から変えています。英語グループに関わる先生には

全員声掛けをし、校長会では、参加希望の先生には全面的支援をお願いしますという形の声掛けを今年度からしています。

○（教育長） 研修会の作り方自体はワーキンググループを主体に、中学校のことを知らなかった、中学校でどんな風にやっているのかが知りたい等の要望があるのであれば、もっと回していく方が良いのかなと感じました。各研修の中で町の特色を前面に出すには、小中一貫のワーキンググループをもっと活用して研修をやった方が良いのかなと感じました。

○（山内委員） 英語の授業に力を込めていること、小中一貫をやっていくというのがこの町の教育の売りだと思えますので、そこが融合し始め、接点が見つかってきたなと思います。やはり小中高の連携した縦の繋がりの中で、子どもをどういう風に、どう育てたらというところに大人たちが見通せるようになってきたのが素晴らしいなと思いました。

また、最近中学生が「今度英検を受ける」とか「英検のための証明写真を撮りに行く」などと話すシーンが増えたように感じます。英検に対するハードルが低くなり、ちょっと頑張っただけで受けてみようという生徒が増えて、とても良いことだと思います。小学生から、将来英語を使いこなす上で、最初の段階で正しい発音をきちんと教え込んでいくことを心がけることが大切だと感じます。

○（指導班長） スピードを落とさないという点で、中学生の実態として、デジタル教科書にはスピードを変えて再生できる機能がありますが、スピードを落とすと生徒達が笑ってしまうそうです。笑ってしまうということは、これでは自分たちにとっては物足りないという感覚になっている生徒が増えてきたというところで、育ちの姿が見えてきています。

二つ目は小中一貫の強みというところで、小中連携となると対等な関係ではなく、上下関係での小中一貫という姿を見たことあるが、二宮に関しては極めて対等でそこが強みだと講師の先生もおっしゃっていました。その関係を崩すことなく、これからも連携を深めていけたらなというところではあります。

三つ目は発音をクリアにというところで、自分たちは決してネイティブを育てたいという訳ではありません。ですが、やり取りはしっかりできる子ども達を育てていけると良いという中で、小学校は例えばwant to go to Australiaという塊で覚えてきます。それが中学校や高校になると、発音や文法等の理屈を教えていく部分が求められます。

○（山内委員） 将来、仕事や生活において、英語は 聞く、話す、読む、書くを身に付ける必要があります。正しく発音することは当然大切ですし、正しく書くことに直結しますので、早い時期にそこを身につけさせてあげたいと思います。

○（渡辺委員） 去年の運動会は紅白戦も無くお祭りのような感じでしたが、今年は一色小と山西小は種目を減らしながら運動会というものが開催出来て、子ども達も楽しそうでした。気温の高い場合、午前中で終わるくらいの時間だと見ている方も疲れすぎず、子ども達にも良いなと感じました。一方で二宮小学校は児童数が多いため前後に授業をし、二

学年ごとの『にのリンピック』というので開催したと聞きました。あまりにも他の小学校と差がありすぎるのではないのでしょうか。保護者との昼食は規模で決めて良いと思うのですが、運動会の中身が同じ町内でここまで違うというのは苦しい気持ちになります。町民運動場を借り切る等の何かしらの対処というのが必要だと思いました。

- （野谷委員） 一点目は英語研修会について、抵抗感が無い、やり取りが上手、意味が解らないことに対する不安が少ない、といった良い点が出ています。その理由の一つに、ALTの充実があると思います。こういうところを町の財政当局等にしっかりPRして、最低限の維持ができるような体制をつくって欲しいと考えます。部長説明の議会報告に陳情がありますが、反対意見が出たというのはどういう内容なのでしょう。

二点目は小中一貫のスケジュールについてです。土砂災害特別区域のことで、5校中4校が土砂災害特別区域に指定され、学校によって規模程度が違います。山西小学校は東側に吾妻山の急斜面があり、建設から40年以上が経過しているため、早急の対応が必要です。それと関係して、一色小学校の卒業生が2中学校に別れる問題は何度も議論されたのですが、制度的な問題も含めて我々の中で話し合いを進めていかななくてはいけないのかなと思います。

- （教育長） 一点目の陳情に関して、反対された方は、少人数学級が悪いということではなく、団体から要求されている根拠の大本には教員の身分保証や教員が自分の職を守るために言っているのではないのかということです。

- （野谷委員） 団体に対する反対ということですか。

- （教育長） そうです。

- （野谷委員） 小中一貫教育については、一色小学校の卒業生をどうするか、山西小学校の存続を含めてやはり結論は難しいですね。

- （教育部長） 山西小学校のハード部分は直ぐには厳しいところです。当面は5校体制ですが、将来的に統合していくのは避けられないです。レッドゾーンが示されれば、町民の方に防災マップの形で周知されますので、地域でも議論が活発になってくると思うので、並行して考えていかなければいけません。

また、一色小学校卒業後、中学校が別れてしまう部分は早急にやらなくてはいけないと思います。今の一色小学校の構想では、二宮西中学校との分離型の一貫教育校です。ですが中学校に上がる時は、緑が丘と一色の子は二宮小と二宮中の一貫校に行かなければいけません。最初は学区を変えるという案もありましたが、選択制もあると思います。ある地域の方は、一色地区は二宮中学校に通うという昔から意識が強く、二宮西中というのはすごい抵抗があるのではないかと、という意見もあります。なので、学区を変えること地域の意見、一色小の保護者の意見をまとめていかななくてはならないと思います。令和5年から一貫校をやる段階ではその整理が出来ていなくてはいけないという意識は持っています。

- （野谷委員） 一色小学校の問題に関して、小中一貫の難しいところですが、二宮西中学

校が2学級になってしまうことです。ずっと2学級になる流れはもう変えられないので、百合が丘を二宮中学区に変える、或いは自由性にするというようなことは如何ということ。二宮西中学校はもっと減ってしましますが、山西小学校が二学級を維持している間は、二宮西中学校の二学級は保障されるということです。

- （岡野委員） そういう意味で、効果は少ないだろうと。
- （野谷委員） そういうことです。
- （山内委員） 学区を変更することは、例えば二宮西中学校に緑が丘の子も行けるようにということですか。
- （教育部長） そうです。今の当初案では緑が丘と一色は西中となっています。ただ、徒歩通学には遠く交通手段が無いので、どうするかという課題が出てきます。
- （岡野委員） 先程の英語の件ですが、もっと先が広がるという印象があります。スピードを落とさずに…というお話が出た時に、ネイティブなスピードのことが気になりました。海外の小学校とICTを使って交流をした時に、自分と同じ年齢の子がそのスピードで喋っているのを聞いたら、彼らはどう思うのかというのがすごく興味があります。絶対負けられない、何が何でもこの人達と話をするんだというスイッチが入るのかどうかというのがポイントだと思います。地元に来た外国の方を英語で観光案内するというのが出来れば良いのですが、授業の中で海外の子ども達と接点を持つことを実現出来たら、せっかくICTがこれだけ揃っているんで、使えるものは全部使って、接点を作っていけたら良いのではないかなと感じます。ヨーロッパやアメリカは時差の関係で難しいと思うので、オーストラリア等の南北で交流が出来れば良いと思うので、将来実現して欲しいなというのが切にお願いしたいところです。
- （山内委員） 海外でも英語が外国語である国の子と対話する機会が出来れば良いと思います。相手にとっては母国語でこちらにとっては外国語であるという設定は、いきなりではハードルが高いかもしれません。お互い外国語で話すというのは対等ですので、まずそこから出来ると楽しく話せるかと思います。
- （岡野委員） 時差の問題があるので、まずは出来るだけ時差が少ないところでチャレンジ出来れば良いと思います。
- （教育部長） オーストラリアのゴールドコーストあたりが、県と交流をしていれば繋がるかもしれません。
- （教育長） やはり糸口があればとっかかりに出来るのですよね。日本人学校が思い浮かぶのですが、そこは日本語を勉強しているので意味がないのですね。
- （岡野委員） 遠慮なく語りかけてくるような世界を体感できるようにして頂ければと思います。それから先程のオリンピックの市口さんがそれぞれの学校に出向いているいろいろな逸話を語って頂くということは出来るのでしょうか。
- （生涯学習課長） おそらく可能だと思います。
- （岡野委員） オリンピック観戦の話と繋がる可能性もあると思うのですが、そういうチ

チャンスがあると、語り部と受け手のお互いにメリットもあるのかなと感じました。

- （教育総務課長） オーストラリアとの交流ですが、今年は文部科学省の委託事業を受けて、神奈川県が全面的に二宮の英語に関してキャンドゥリストの作成や支援をしてくれるという話になっています。神奈川県の本庁の職員が来るので、是非県での交流をできればと思います。
- （教育部長） 二宮町を含めて、この近辺もゴールドコーストと交流していた経緯があるので、何か出来るかなという感じはあります。
- （教育長） 時差はありませんでしたか。
- （教育部長） 1～2時間あります。

4 付議事項

5 報告・協議事項

（1）各種委員会委員等の選任について

（教育総務班長） 各種委員会委員等の選任について資料に基づいて説明。

意見等なし

（2）令和4年度使用教科書採択について

（教育総務課長代理） 令和4年度使用教科書採択について資料に基づいて説明。

- （教育長） 『者』というのはこの漢字でよいのでしょうか。
- （教育総務課長代理） 県の資料等を見直したのですが、『者』でした。
昨年度に中学校の歴史の教科書は決まり、令和3年度から使っているのですが、一年遅れで自由社の教科書が文科の審査を通りました。この教科書の扱いについてどうするかというお話です。
- （渡辺委員） 歴史だけ自由社を踏まえて採択替えをするのか、そのままで行くのかというところですか。
- （教育総務課長代理） そのとおりです。
- （岡野委員） 中学校の採択をした時に、自信を持って決めたものになります。それをしっかりと定着させていくという意味では、継続すべきと考えます。新たに一社加わりまた横並びで採択したとしても、恐らく優劣はそう変わらないと思いますし、昨年変えてまた変えると、それこそ小中一貫のカリキュラム作りはどうなるのかということもあるので、継続して頂きたいのが希望です。
- （野谷委員） 昨年度いろいろな先生方が集まり、研究して最終的に決まりました。ただ新しい教科書が来た時に門前払いというのは如何なものかと考えます。資料2の左側の

路線で行ける妙案はないのでしょうか。

- （教育総務課長） 岡野委員さんと野谷委員さんからは、基本的にはこのままで良いと思うけど、一応公平性を保つという意味でのご意見と承りました。フローチャートの二段目に、県教育委員会作成調査研究資料があります。これが6月末を目途に二宮町に届くことになっています。見本の教科書はすでに委員さんの部数は届いております。研究資料が届き次第、委員さんには自由社のものを含めて歴史の教科書は全てお渡しします。その上で7月30日の定例会が最終的な令和4年度教科書採択となりますので、7月5日くらいまでにお読み頂き、再採択の必要があるのであれば、改めて事務局までご意見を頂ければ、その時点で右側のルートにするかどうか検討させていただきます。公平性をきすためにも資料は全てお渡しをします。
- （岡野委員） 上から二つ目のところを見て、現状と比較してということですね。
- （教育総務課長） 右側のルートに行く場合は調査委員会と採択検討委員会をそこから設置することになりますので、時間的には1週間以内くらいでご返答頂くという形で進めていきます。

（3） かながわ学びづくり推進地域研究委託事業アンケート

（教育総務課長代理） かながわ学びづくり推進地域研究委託事業アンケートについて資料に基づいて説明。

- （岡野委員） 15番の自分の考えが上手く伝わるようにというところで、例えば、会社の中で、「あれはどうだった？」と聞くと、時系列で説明されてしまい、結局どうだったのか上手く伝わらないシーンを多く見ます。ですので、15番と16番が実践において重要な割合を占めるのかなと感じます。そもそも自分自身の肯定感という意味では4番のところで、高学年になるとぐっと下がっています。何か工夫をして目標を持てるような子になってもらいたいです。最初の目標は人から与えられるものでも良いと思うのですが、最後は自分で決めなくてはいけないのでそこまで辿り着けるようになると良いかなと感じました。
- （教育長） 3番のところも気になります。やはり自分に対してもう少し自信が持てるような子ども達に育てられたらと思います。
- （山内委員） アンケートの対象は全員ではないですね。
- （教育総務課長代理） 全学校の小学5年生～中学3年生を対象にしています。
- （山内委員） 全回答あったということですか。
- （教育総務課長代理） 当日休んだ子に改めてアンケートをとったかまでは確認していませんが、基本的に全学校に全クラスで実施をして下さいとのことで行いました。
- （岡野委員） 母集団はかなり信頼性が高いということなんですね。
- （山内委員） 不登校の児童生徒にはどのようなになっているのでしょうか。

- （教育総務課長代理）そこは確認をしてみます。
- （山内委員）回答内容から、恐らく入っていないという気がしますので、確認して分かりましたら教えて下さい。
- （野谷委員）かながわ学びづくり推進地域研究テーマですが、アンケート項目は他の地域でもやっているのでしょうか。もしやっているとすれば二宮の子どもはそれと比べてどうなのか、そして何年間やるのかという見通しはどうか。
- （教育総務課長代理）まず設問の内容については、基本的に二宮のことを聞いています。研究員の方と指導班を含めて検討しています。似たような質問が全国学力学習状況調査等を参考にしています。そこも設問によっては比べることも可能だと思いますので、また情報共有していきたいと思います。今後の見通しにつきましては、あくまで子ども達の現状ということですので、出来る限り経年変化というところは見ていきたいと思っています。今、吉原先生の方で取り組んでいる研究が、例えば先程の15番16番の質問はスキルのなところですので、子ども達が全員挙手をし、全員で議論するような授業を進めていけば、これが上がっていってくれると嬉しいなという気持ちもあります。その辺りを客観的に見ることができると思いますので、継続してやっていきたいと思っています。
- （渡辺委員）吉新先生の研究が2年目ですので、このアンケートがせめて3～5年くらい継続して出来ると、今始まっていることが実績としてしっかりと定着してきていることが見えて、小中一貫教育の中身にもすごく良い材料になりそうです。

（4）東京オリンピック・パラリンピック競技大会学校連携観戦チケットについて

（教育総務課長）東京オリンピック・パラリンピック競技大会学校連携観戦チケットについて資料に基づいて説明。

- （山内委員）先日の新聞報道では中止にした自治体の中に大磯と二宮は載っておらず、行くのかなと思いました。
- （教育総務課長）大磯町は早々に中止にしていました。
- （山内委員）秦野市もそうですよね。感染の是非については様々見解があるので二宮町としてはまず、保護者の選択、ご家庭の見解に委ね、選択して頂くことにしたが、蔓延防止の延長が決定したことに従って、観戦を中止する判断をしました、というのは筋が通っていると思います。
- （渡辺委員）当初は行きたい先生とご家庭が行くということであれば、せっかくの機会なので良いかなという気持ちでしたが、先生方の引率の不安が大きいというのは尊重すべきだと感じます。結果的に、蔓延防止が延びたという結論は良いと思います。このお手紙が配布された直後に中学3年生の子が、最後の部活の大会を親は見に来ることができないのにオリンピックを皆で行けというのはショックでした、と言っていました。そういう子どもの声があって、社会や大人への不信にも繋がってしまうのかなと少し思いま

した。結果的に中止というのは、致し方ないかなと感じました。

- （岡野委員） 私も中止の結果は致し方ないと感じます。
- （野谷委員） 私も同じです。キーワードが子ども達の健康安全について、そこを鑑みての言葉なのかなと思います。また、先生方の連れていくのが怖いという感覚は大事にしなければいけないと思います。公務なので、世論が分かれている中で一方の立場を強いるのは避けた方が良く考えます。
- （教育長） 通知を出す段階でも、蔓延防止が延長された場合には止めますということも明記してありますので、今回に至っては取り止めにするということで取りまとめてもよろしいでしょうか。

委員全員賛成

（５）ガラスのうさぎ像平和と友情のつどいについて

（教育総務班長） ガラスのうさぎ像平和と友情のつどいについて資料に基づいて説明。

意見等なし

（７）その他

- （生涯学習課長） 成人式の実行委員会の企画イベントの関係です。先程部長からもお話がありましたが、補正予算を頂戴しましたので、現在、実行委員さんとお話しながら準備を行っています。当初は9月中旬頃に実施すると先月の教育委員会議でご案内しましたが、話をしていく中で8月の下旬に実施をしたいというお話を頂きました。加えて、ラディアンを会場として予定していましたが、密対策が難しいこともあり、各中学校を会場として分散という形で開催したいというご要望もありましたので、現在はその方向で調整を進めています。短い期間ですが内容等を詰めているところで、基本的に実行委員さんのご意向を十分尊重した中で実施をしていきたいと思っています。
- （岡野委員） 教育委員会や町等で、何か盛大に盛り上げてあげられるような仕組みやサポートはありませんか。
- （生涯学習課長） 今、実行委員さんが考えているのは、例えば中学校の時にお世話になった先生方から動画を頂戴し、YouTube等で視聴出来るようにといったものがあります。同窓会の形をイメージしているようで、学校を会場として考えていますが暑い時期なので、基本的には体育館をメイン会場としつつ、学校の中も見られたら嬉しいという話もあります。そこは両中学校と調整をしながら、極力希望に沿った形で出来ればと思います。あくまでもメインは実行委員さんなのですが、我々としても出来る限りのことは側面支援としてやってあげたいという気持ちはあります。

- （教育部長） 会場が二つに分かれるので、教育長や町長にお声がけしたり、メッセージを出すことも考えたいと思っています。他に何が出来るのかというのもあるので、盛り上げられるようなものがあればしたいと思っています。
- （山内委員） 実行委員会もそれぞれの学校に分かれる形になりますよね。
- （教育部長） 検討は一緒にしていますが、それぞれ出身校に行く形になりそうですね。
- （山内委員） 中学校の二学期は、今年も早めに始まるのでしょうか。
- （教育部長） 早めに始まる予定ですので、今は8月22日の日曜日が有力です。
- （山内委員） 学校の先生方に、いつも無いお仕事が増えてしまうと心配です。それこそコミュニティスクールや地域の方々にお手伝いして頂けると良いなと思います。
- （教育部長） 当日、先生に何かしてもらおうというのは考えていません。場所をお借りすることに関しては校長先生も好意的に捉えて頂き、教室の中も使って良いとのことで、それはこちらの職員が案内するという事になっています。学校には負担を掛けないようにします。
- （山内委員） ふるさとに帰るという意味で、懐かしい母校に集まって大人の集いをする事はとても良いですね。出身小学校の先生方の動画なども有ると良いかと思います。
- （生涯学習課長） それも案としては出ておりますが、全ての先生をとというのは難しいので、出来る範囲で代用する形を考えたいと思います。
- （岡野委員） I C Tを使ってお互いの会場を中継するというのは出来ませんか。
- （山内委員） 体育館や教室を借りるだけでなく、いろいろな物品も学校からお借りしなくてはなりません。それまでの打ち合わせにも実行委員さんが行かなくてはならないので、学校側のやるが増えることにならないので、出来るだけ地域の力で助けてあげられる様になればと思います。
- （教育長） 運営協議会として、一言連絡してみると良いですね。
- （渡辺委員） 皆で花火を教室から見る事が出来ると素敵だなと思います。
- （教育長） 今年は記念品を作っているのですよね。
- （生涯学習課長） 記念品はマグカップを予定しています。イラストはニーノとミーヤの作成者の方に、実行委員さんの思いをお伝えしながらオリジナルのものを考えています。
- （教育長） あくまで今年に限りのことです。
- （教育総務課長） 学校の長寿命化計画に基づく大型工事がこれから始まります。二宮小学校の体育館は、来週から仮囲いをして足場が組まれて、工事が始まりますのでご承知下さい。吾妻山入り口付近の斜面地の法面も危ないと指摘がありまして、その木を切る工事が7月3日から始まります。山西小学校の非常階段の塗装のやり直しが、夏休みに入って直ぐに始まります。一色小学校の教室の梁の空洞化の薬液の注入が夏休みに始まりますが、中里キッズにどいて頂かないといけないので、隣の地域交流ルームをお借りして、環境調査が終わったら戻し、次は地域交流ルームを施工することになっています。一色再生協とも合意を得ています。そのような工事が始まりますので、よろしくお願ひします。

- （山内委員） 二宮小学校体育館は夜に体操の子達が使っていますが、使用出来なくなるのでしょうか。
- （教育総務課長） 北側と西側が施工箇所になるので、窓を開けるのが主に東側と南側になります。換気が少し不自由とは思いますが、使えます。
- （教育長） 囲いというのはL字型と全面どちらでしょうか。
- （教育総務課長） 校庭に一部せり出して、全面的に体育館を囲うイメージです。駅から上がってくる校門を入れてすぐのところから、校舎の方に向けて、少し校庭をくって囲います。
- （教育長） ぐるっと一周全部を囲う訳ではないのですね。
- （教育部長） 東側は囲いませんが、南側の途中から囲っていきます。
- （教育総務課長） フェンスがあるところ以外は、ほとんど囲います。全て夏休み中に施工が完了する予定になっています。

－ 次回教育委員会予定 －

（教育総務班長） 次回教育委員会議の日程及び出席を要する主な行事について説明。

5 報告・協議事項

（6）令和3年度二宮育英会奨学生の選考結果等について

－ 非公開 －

11時30分 閉会